

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)	◎	その他専門店〔酒〕（経営者）	・酒類業界は1～2月は相当暇だが、3～5月にかけて花見の影響により、売上が増加するとみられる。
	○	商店街（常務理事）	・インバウンドが地方都市であっても年間を通して多く訪れるようになっており、今後も海外からの地元空港への増便や就航が予定されている。それらの影響により、中心市街地は人通りも増え、にぎわいが出ているため、何とかこの環境を売上に結び付けていきたい。
	○	スーパー（店長）	・今後、徐々に観光客需要が回復してくると予測される。
	○	コンビニ（商品担当）	・株価上昇に加えて、円安が少し収まれば景気が回復するとみられる。
	○	観光型旅館（経営者）	・春先からのインバウンド需要の増加を従来のゴールデンルートで吸収し切れないなか、地方のインバウンド需要が増加してくるとみられる。
	○	タクシー運転手	・今年は四国遍路が逆打ちの年であり、来月からは仕事が入ってきている。新型コロナウイルス感染症も規制がなくなっているため、来月は花見などによりタクシーの乗車数が増えるともみられる。
	○	タクシー運転手	・毎年4月や5月は入学、入社などの人の移動により、飲食の利用客が増えるが、昼間の状態は余り変わりがないとみられる。
	○	通信会社（支店長）	・新生活シーズンになるため、来客・需要は拡大すると想定される。
	○	観光遊園地（主幹）	・3月から松山～台湾の定期便が再開されるとみられる。
	○	美容室（経営者）	・来客数が増えてきている。
	□	商店街（代表者）	・新年度になり新たな生活等が始まり、企業も個人も物価高騰への対応等が多少落ち着きを見せ、行動が活発になるとみられる。厳しい状況が続いているが前年並みにはなってくるとみられる。
	□	商店街（代表者）	・様々な物価上昇に加えて、賃金アップの報道がかなりあるため、商店街等の中小零細企業の店主にとっては大変厳しいマインド状況である。消費者マインドもなかなか上がらないとみられる。
	□	商店街（代表者）	・政局の不安定、日本銀行の金融政策など当面の課題はあるが、バブルではない企業業績の裏付けを伴った株式市場の右肩上がりを目指したい。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・春の送別用商品の予約は順調に入ってきているが、来店をお願いしないと引渡しへの対応が難しくなっている。また、時間指定や急な注文の配達には難しい状態になっている。
	□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・地方の景気は良くなる要素が何もなく、今後も変わらないとみられる。
	□	百貨店（販売促進）	・株価が過去最高に高騰しているが、その恩恵効果が出るには時間が掛かる。また、恩恵効果がある業種も限られており一般消費には結び付かないとみられる。
	□	スーパー（企画担当）	・商品の値上げが続く限り売上は伸びていくとみられるが、来客数を増加させるための販売促進手段を考えていく必要がある。
	□	スーパー（企画担当）	・来客数は前年比ではある程度落ち着きを見せてきたが、単価上昇の継続により、売上については前年を超える見込みである。来期以降は、一巡してくるためまだまだ先行きは不透明である。
	□	コンビニ（店長）	・買上点数の増加や客単価の上昇がみられない。
	□	コンビニ（総務）	・消費者は実質賃金が上がらないなかで家計をやり繰りしており、新型コロナウイルス感染症発生前と比較してもライフスタイルが変化しているようにみられる。いろいろな店舗を利用することで少しでもお買い得に買物ができるように消費者は売手側以上にいろいろなことを考えている。
□	衣料品専門店（経営者）	・本来3月は異動連絡や入学試験が終わるため、精神的に楽になり開放的になる良いシーズンであるが、今の状況では今後良くなるための要素が足りないとみられる。	
□	衣料品専門店（経営者）	・所得が上がらない上に物価は全てにおいて上がっている。今後半年くらいは景気は良くならないとみられる。	

	□	家電量販店（店員）	・商品価格も更に上がってきており、今以上に買物に対し慎重になっていくとみられる。
	□	家電量販店（副店長）	・4月以降、大手企業は賃上げなどができているが、企業の多くを占める中小企業の賃上げができないと景気は回復しないとみられる。
	□	乗用車販売業（営業担当）	・約半数がオーダーストップの車のため苦戦が続くとみられる。
	□	乗用車販売店（従業員）	・長納期の車種が多く、客に提案できない。
	□	都市型ホテル（経営者）	・天候不順や災害、交通障害などにより宿泊予約があってもいろいろな要因でどうなるか分からない。状況が良化するものもあれば悪化するものもあり、余り変わらないとみられる。
	□	旅行代理店（部長）	・株価高騰や円安等を背景とした好材料も多いが、全ての消費者への還元には至っていない。
	□	通信会社（営業担当）	・今より良くなる要素が見受けられない。
	□	競輪競馬（マネージャー）	・物価は今後も少しずつ上昇するとみられるが、まだまだ生活が豊かになる感じはない。しかし遊興へのマインドは、変わらず推移すると予想される。
	□	美容室（経営者）	・今後はそれほど変わらないとみられる。
	□	設計事務所（所長）	・建築費に関して、原材料費はやや頭打ちだが、燃料費や運搬費が上がっているため更に上昇するとみられる。しかし、好調の企業については投資をしなくてはならない状況にあると予想される。
	▲	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・各社年度末であり、今年度の予算を使い切る関係上、受注量は例年と同程度だとみられるが、受注内容は商品が多様化しており変化している。4月は大きく売上が減少するとみられ、心配である。
	▲	スーパー（店長）	・買上点数が戻らず客単価の伸びがなくなっている。
	▲	スーパー（統括担当）	・物価高の落ち着きがみえない。
	▲	スーパー（財務担当）	・株高による資産効果が一部見込まれる。また、大企業を中心に賃上げが進むが、中小企業を含む全体としては実質賃金の上昇には至らないとみられる。
	▲	衣料品専門店（経営者）	・物価高の継続がみられる。
	▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（総務部担当部長）	・これまでは、全国旅行支援等によりコロナ禍からの回復がかさ上げされてきたと捉えており、今後、当該利用分の落ち込みが発生すると想定される。
	▲	一般レストラン（経営者）	・景気はやや悪くなると予想されるが、入学、卒業、就職、転勤等、食事会の需要が増す季節であり、前年並みとはいかないまでも、1月や2月よりは客足が増えるのではないかとみられる。
	▲	通信会社（社員）	・当社の販売サービスはケーブルテレビサービスであり、若年層がターゲットではないため、やや悪くなるとみられる。
	×	コンビニ（店長）	・入学、進学シーズンに入るため、人の動きが活発になるが、現状から判断して、しばらく悪化していくのではないかとみられる。
	×	乗用車販売店（従業員）	・エンジンの生産停止が続くなかでは、厳しい状況が続くとみられる。
企業 動向 関連	◎	食料品製造業（商品統括）	・マスコミにより春闘・賃上げを期待する情報が大量に流されている。食品価格の値上げについての抵抗は、特に業務上では相当減ってきている。
(四国)	○	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・キッチンペーパーの原紙をすく機械を改造したため、生産数が上がり受注に対応できるため売上は上がるとみられる。ウェットクリーナーの売行きは供給の方が多く、余り良くない。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・株高の影響によりマインドが高まっているため案件が決まっていくとみられる。
	○	通信業（総務担当）	・状況を見ていく必要があるが、ボランティア活動等の社外イベントの参加者数が前年から増加していることや、今後気候が温暖になれば、新型コロナウイルス感染症といった感染症の流行も落ち着くと想定され、更に人の移動が増加すると想定される。
	□	食料品製造業（経営者）	・外食ルートへの販売が強くなっており、この状況は続くと推測している。

	<input type="checkbox"/>	繊維工業（経営者）	・中国の景気減速の関係で中国国内の繊維業者が厳しい状況のため、我が国の宿泊関係の業務用タオルの受注を積極的に行っており、我が国の業務用タオル製造メーカーの受注が減っている。また、円安の影響で染料、染色の加工賃が更に値上がりしていることに加え、人手不足と賃金上昇もあり、地域の製造業者の採算はますます厳しくなっている。
	<input type="checkbox"/>	木材木製品製造業（営業部長）	・大手ハウスメーカーの受注契約者数が回復しておらず、今後もこの状態が継続される見込みである。
	<input type="checkbox"/>	鉄鋼業（総務部長）	・特に変動要因は見つからない。
	<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経理担当）	・世界経済全体としては、長期化するロシア・ウクライナ問題やイスラエル・パレスチナ情勢等の地政学リスクの高まりに加え、米国はじめ各国で総選挙が予定されるなど、より一層先行きの不透明感が増している。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経理）	・株価が最高値となるものの、実態は原動費及び物価高の高水準が継続しており、併せて継続的な円安傾向となっている点からも、今後の景気回復の兆しは不透明だとみられる。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・来年度の予算次第である。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・現状が大きく変わることは、今の業界を取り巻く状況からして考えにくい。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（経営者）	・先が見えにくく、マイナス要因も多いため、良くなることはないと思われる。
	<input type="checkbox"/>	通信業（企画・売上管理）	・新年度から大きく増減するレベルのトピックスは現状耳に入っていない。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店（経営者）	・多くの客先の来期販売促進広告費は現状維持あるいは削減傾向が予想されているが、観光関連や人手不足に伴う採用関係は多少増加が見込まれる。したがって、大きくは変わらないと予想される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設業（総務）	・資材調達が困難な状態が継続している。また、資材価格の上昇により案件に不調が生じており、改善の見通しがみられない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	金融業（副支店長）	・人材不足や資材価格の上昇に加え、賃上げや日本銀行のゼロ金利政策解除となった場合にそれに伴う金利上昇懸念等があり、一時的に景気は後退するとみられる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	税理士事務所	・まだ、人件費高騰や物価高騰に対応できているとは考えられない。
	<input type="checkbox"/>	—	—
雇用 関連 (四国)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（役員）	・新年度に向けて人や環境が変化する季節柄、新しい生活を迎えるための消費ニーズが高まると考える。関連して、公共交通、流通経済にも良い影響が出る傾向だが、一方で人材不足による業務の縮小、サービスの低下が課題になりそうである。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（営業担当）	・企業側の正規雇用が抑えられており、非正規雇用の需要が増えると考えられる。
	<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関（所長）	・人手不足が進行しており、ますます求人の動きが活発になりそうである。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌（営業）	・人材不足の状況が大きく変わる要素が少ないため変わらないとみられる。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌制作会社（経営者）	・異動時期が落ち着き求人数の減少が見込まれる。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（求人開発）	・求人数が8か月連続で伸び悩んでいることに加えて、物価高による様々なものへの価格転嫁や値上げが相変わらず散発的に起きている。
	<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職担当）	・人手不足感が変わらないとみられる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・来期の契約更新については、横ばいであろう業態の広告もほぼ全体的に縮小又は微減での契約更新となっており、明るい材料が乏しいとみられる。
	<input type="checkbox"/>	—	—